

分光蛍光光度計



機器名称 分光蛍光光度計

光 源：150Wキセノンランプ
 測定波長範囲：200～750nm及び0次光
 感 度：S/N800以上(RMS)
 S/N250以上(Peak to Peak)
 試料形態：液体・粉体・フィルム等



概要

分光蛍光光度計は特定の波長(200～700nm)の光を照射し、試料から発生する蛍光や燐光の波長(200～750nm)を測定する装置です。

分析の対象は蛍光や燐光を発生するものに限られますが、吸光分析と比較すると高感度であることが特長です。

波長スキャンモードでは、照射光の波長を変化させた場合に試料から発生する特定の波長における光の強度の測定や、特定の波長の光を照射した場合の試料から発生する光のスペクトルの測定が可能です。

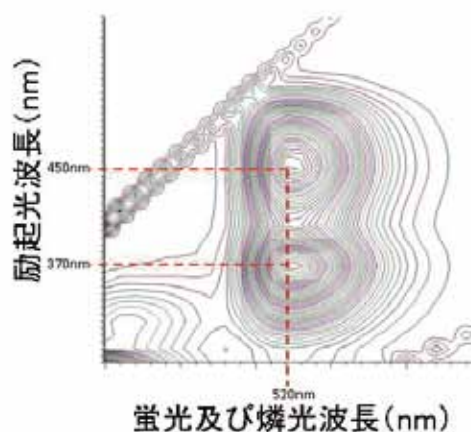
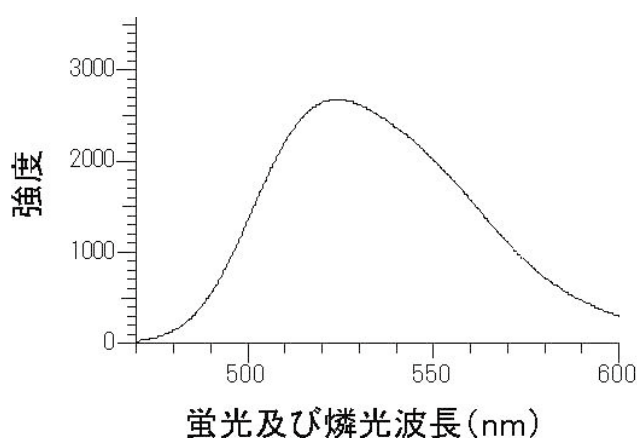
また、照射光の波長と試料から発生する光の波長の関係の3次元的情報を取得する3次元スキャン機能を備えています。

そのほか、蛍光や燐光の時間変化測定が可能です。

用途

有機ELやフォトクロミック材料等の発光特性や劣化の評価、食品・バイオ分野における蛍光の発生や消失による反応の進行の把握などに活用できます。

下図は飲料の波長スキャン(照射光450nm)と3次元スキャンです。波長スキャンから520nmの発光があることが分かります。また3次元スキャンからは、370nmの光によっても520nmの発光が生じることが分かります。



※機器貸付、依頼試験方法等詳細は、ホームページをご覧ください。https://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/p_gijutsushien/

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 化学・環境担当 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp